

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	映像記録論			
担当教員	内田順子			
授業概要	フィールドワーク等に基づく研究の成果を公開・共有するツールとして映像を活用する方法について、理論と実践を通して学ぶ。まず、歴史的な記録映像に基づき、映像制作および映像の共有についての基礎を学ぶ。また、受講生それぞれの研究分野において、これまでどのような映像が作られてきたのかについて調べ、映像を分析することを通して、映像制作についての基本的な知識を獲得する。さらに、撮影・編集の基本技術を身につけ、自身の研究の成果を短い映像にまとめる。授業はおもに講義形式で進めるが必要に応じて演習形式で行う。			
教育目標・目的	自身の研究分野について、どのような映像がこれまで作られてきたのかについて調べる方法を身につける。また、映像制作についての基本的な知識を獲得する。さらに、撮影・編集の基本技術を身につけ、自身の研究の成果を映像にまとめることができるようになる。			
成績評価	授業への参加貢献度(20%)、課題の実施(40%)、完成課題(40%)			
授業計画	1. 学術的な映像の概要	9. 素材の収集と講評1		
	2. 研究分野ごとの映像の活用例	10. 素材の収集と講評2		
	3. 映像と倫理	11. 素材の収集と講評3		
	4. なぜ映像を用いるのか：目標設定	12. 編集と講評1		
	5. 撮影の基礎	13. 編集と講評2		
	6. 録音の基礎	14. 編集と講評3		
	7. 編集の基礎	15. 完成映像の発表と講評		
	8. 映像企画の検討			
実施場所	歴博・第3研修室	使用言語	日本語	
前期・後期の別	前期・後期・ 通年	対象年次	3, 4, 5	単位数 2単位
教科書・参考図書	南出和余・秋谷直矩『フィールドワークと映像実践』ハーベスト社、2013年 分藤大翼・村尾静二・川瀬慈(編)『フィールド映像術』古今書院、2015年			
備考				